

先端薬科学特論：単位認定講義

第152回 創薬科学セミナー

日時：2022年06月17日（金曜日）16:00～17:30

開催方法：ハイブリッド

対面：創薬科学研究館2階講義室

Web：参加希望者はリンクより登録をお願いします。

Zoomアドレスを前日までにお送りします。こちらから登録 → [リンク](#)
HPにも情報があります。 [登録締切 6月15日\(水曜日\)12:00まで](#)

講演者：

国立医薬品食品衛生研究所・薬理部・部長

諫田泰成 先生 Dr. Yasunari Kanda

講演

ヒトiPS細胞技術を活用した新たな薬理試験法の開発

Development of new in vitro testing methods using human iPS cell technology

創薬プロセスにおいて、新たな科学技術によりヒトに対する医薬品の予測性向上や被験者の安全性確保が期待されています。特に、ヒトiPS細胞技術によりこれまで入手が困難だった様々なヒト細胞の利用が可能となり、現在では化合物の探索から薬理試験に至るまで広く利用されています。

我々はこれまでヒトiPS細胞由来心筋細胞を使った薬剤性不整脈のリスク予測法を開発し、米国食品医薬品局（FDA）らとともにその有用性を明らかにしてきました。現在、新たに学際領域である腫瘍循環器学の対しても、抗がん剤の心毒性評価を展開しています。

また、ヒトiPS細胞由来分化細胞は、中枢神経系の痙攣リスク評価、さらに最近ではCOVID-19治療薬の開発にも活用できることが分かってきました。

そこで本セミナーでは、ヒトiPS細胞技術を用いた薬理試験法の現状や課題、今後の展望を講演いたします。

最先端の薬理試験についてご講演いただきます。

奮ってご参加ください！

連絡先：創薬科学研究科 加藤竜司 (kato-r@ps.nagoya-u.ac.jp)